

ひろしまの森づくり事業（交付金事業）推進の考え方（第3期：H29～H33）

市町名： 広島市

1 要旨

広島市の森づくり事業（交付金事業）を実施するにあたって、「ひろしまの森づくり事業に関する推進方針」を踏まえ、広島市の里山林を取り巻く現状と課題を念頭に第3期の推進方針を定め、これに基づいて森林の持つ公益的機能を持続的に発揮できる取り組みを行うこととする。

2 里山林の現状と目指す姿

区分	現状	課題	目指す里山林の姿	取組む内容
景観保全林	里山林の手入れ不足や竹林化により、景観の悪化が生じている。	里山林の手入れ不足や竹林化により、景観の悪化が生じているため、景観改善のための里山整備が課題となっている。 【景観の悪化に悩む集落：30集落】	森林整備によって、美しい景観を形作る里山林とする。	景観の悪化が著しい地域において、美しい森林景観を取り戻す森林整備を行う。 【景観の悪化に悩む集落：20集落▲10】
防災・減災林（特認含む）	里山林の手入れ不足によって災害の危険性が高くなっている。	土砂災害警戒区域等の災害の危険性のある里山林において、防災・減災のための森林整備等が課題となっている。 【災害の危険性に悩む集落：30集落】	土砂災害警戒区域等の災害の危険性のある里山林において、地域住民一体となった森林整備等により、防災・減災の機能を持つ里山林とする。	土砂災害警戒区域等の災害の危険性のある里山林において、地域住民一体となった森林整備を行う。 【災害の危険性に悩む集落：20集落▲10】
地域資源活用林（特認含む）				
環境緑化保全林				
鳥獣被害防止林	・シカやイノシシなどの野生動物が人里近くまで活動域を広げ、鳥獣被害が拡大している。	・シカやイノシシなどによる鳥獣被害が拡大しているため、野生動物との共生を目指した里山林整備が課題となっている。 ・仮に対策を講じても効果が限定的となっている。 【鳥獣被害に悩む集落：10集落】	・シカやイノシシなどの野生動物が人里近くまで活動域を広げつつあることから、生物多様性の保全や野生動物との棲み分けがされるなど、一定の緩衝機能を持った里山林に整備し、野生動物との共生を目指します。	・鳥獣被害が著しい地域において、バッファゾーンとしての森林整備とその他の対策を一体的に取り組むとともに、持続した管理が見込まれる地域から重点的に実施する。 【鳥獣被害に悩む集落：8集落▲2】

※区分は市町が森づくり事業に取り組む方針により選択して記載すること。

3 森林を守り育てるための取り組み

区分	現状と課題	目指す姿	取組む内容
森林を守り育てる体制 森林整備を行う者 (森林ボランティア団体) (住民団体等) (小規模林業経営者) ※主体別に記入 森林整備を助ける体制 (森林資源の継続的利用)	<ul style="list-style-type: none"> ・森づくり事業を活用するボランティア団体は財務基盤等が脆弱であるため、引き続き森づくり事業を活用して活動を継続したい旨の要望が多い。 【森林ボランティア団体数: 20団体】 ・木材価格低迷による林業経営の採算性の悪化などから、管理不足の森林が増加しており、林業事業者だけでなく、森林所有者等が行う自伐林業の推進による林業の再生が必要となっている。 【小規模林業経営者: 一人(団体)】 ・森林内に放置されてる未利用材等の有効活用により森林の多面的機能の持続発揮や、中山間地域の活性化等が期待されている。 【自伐林業インストラクター: 10人】 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内域をカバーできる程度のボランティア団体が存在し、自らの収入と会費で運営されながら、森づくり事業を活用し森林保全活動を展開することにより、地域の活性化に寄与している。 ・自伐林業を振興することにより、地域住民に「自分たちの森は自分たちで守る」という里山の活性化に不可欠な自治意識の醸成を図り、新たな里山産業の創出に向けて環境を整える。 ・森林内の未利用材を搬出できる人材を育成し、未利用材の有効活用による地域経済の活性化と雇用の創出を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・里山保全活用支援事業や森林・林業体験活動支援事業を活用し、ボランティア団体活動の維持と組織の活性化を図り次世代に活動を引き継いでいく。 【森林ボランティア団体数: 25団体】 ・自伐林業に取り組む森林所有者等に指導者の派遣や、搬出に必要な機材の貸し出し等の支援を行い、小規模林業経営者の育成を図る。 【小規模林業経営者: 5人(1団体)】 ・未利用材の搬出を指導する自伐林業インストラクターの育成。 【自伐林業インストラクター: 60人】
取組への理解促進 参加拡大による理解促進 事業の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ひろしまの森づくり県民税による事業が、どのように展開され、どのような効果に資しているか周知できていない。 ・市民が森林整備などの体験と学習をする機会の情報発信力が乏しい。 【森づくりコミュニティネットの管理運営】 ・森づくりに参加する市民の人数をより増加させるとともに、「森づくりに参加している」という意識の醸成を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が森づくり県民税の使途や効果、実績を理解している。 ・市民が欲している、森林・林業に関するイベントや活動などの情報がタイムリーに入手できる。 ・多くの市民が森づくりに参加し、積極的に「森づくりに参加している」という意識を醸成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報誌を活用し事業の実績や効果を市民に広く発信する。 ・森づくりコミュニティネットの活用により森づくり情報を行政と市民が双方向に共有するためのホームページを運営する。 【森づくりコミュニティネットの管理運営】 ・市民が森づくり活動に参加した場合に、認定団体から森づくりポイントを市民へ付与するとともに、ポイントに応じて間伐材製品を提供する。